May.1.2024 Copyright 2024 HIROSE ELECTRIC CO., LTD. All Rights Reserved.
本製品を車載用途などの高い信頼性が求められる機器にご使用の場合は、弊社までお問合せ下さい。

適　用　規　格					
定　格	使用温度範囲	−35℃～ +85℃ (注1)	保存温度範囲		−10℃～ +60℃ (注3)
	使用湿度範囲	20% ～ 80%　(注2)	保存湿度範囲		40% ～ 70%　(注3)
	適合コネクタ	DF57H-2S-1.2C(##) DF57AH-2S-1.2C(##)	UL・C-UL定格 △2	使用温度範囲	−35℃～ +75℃ (注1)
	適合端子	DF57-****SCF(##)			
	電　圧	AC/DC 50V		電　圧	AC/DC 29V
	電　流	AWG26 : 3.0A/pin AWG28 : 2.5A/pin AWG30 : 1.5A/pin AWG32 : 1.0A/pin AWG34 : 0.8A/pin		電　流	AWG26 : 3.0A/pin AWG28 : 2.5A/pin AWG30 : 1.5A/pin AWG32 : 1.2A/pin AWG34 : 1.0A/pin

性　　能

		試　験　方　法	規　　格	QT	AT
構造	外観,構造,仕上げ	目視，寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電気的性能	低電圧､低電流下の接触抵抗	20mV 以下，1 mA (DC又は 1000 Hz)で測定する。	10 mΩ以下	○	−
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	100 MΩ以上	○	−
	耐電圧	AC 500 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡･絶縁破壊がないこと。	○	−
機械的性能	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 20 mΩ以下 ②破損､ひび､部品のゆるみがないこと。	○	−
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力　20.0 N以下 引抜力　0.9 N以上	○	−
	耐振性	周波数 10～55 Hz､片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 10サイクル試験する。	①1μs以上の電気的瞬断がないこと。 ②破損､ひび､部品のゆるみがないこと。	○	−
	耐衝撃性	加速度 490 m/s^2､持続時間 11 ms､ 正弦半波 3 軸両方向 各 3 回試験する。	①1μs以上の電気的瞬断がないこと。 ②破損､ひび､部品のゆるみがないこと。	○	−
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃､湿度　90～95 %中に 96 時間放置する。 （室温に1～2時間放置後測定）	①接触抵抗：20 mΩ以下 ②絶縁抵抗：100 MΩ以上 ③破損､ひび､部品のゆるみがないこと。	○	−
	温度サイクル	温度 −55 → 85℃ 時間　30　→30分 を 5 ｻｲｸﾙ 試験する。 槽の移し変えは時間は2～3分 （室温に1～2時間放置後測定）	①接触抵抗：20 mΩ以下 ②絶縁抵抗：100 MΩ以上 ③破損､ひび､部品のゆるみがないこと。	○	−
	はんだ耐熱性	【リフローはんだ付けの場合】 以下の温度条件で2回のリフローを行う。 リフロー部：ピーク温度250℃　10秒以内 220℃以上　60秒以下 予熱部：150～180℃　90～120秒 【手はんだの場合】 はんだごて温度　350±10℃、3秒の条件にてはんだ付けを行う。 但し、端子に力は加えないこと。	外観の変形及び端子等に 著しいガタがないこと。	○	−
	はんだ付け性	はんだ温度 245 ℃，浸せき時間 5 秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の95%以上が新しいはんだでぬれていること。	○	−

備考
(注1)通電時の温度上昇を含む。
(注2)結露のないこと。
(注3)基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。
　　基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。

	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
△2	1	DIS-H-00005747	HK.HAYASHI	SZ.ONO	20200217

試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。	承　認	KI.AKIYAMA	20121001
	検　図	HK.UMEHARA	20121001
	担　当	TS.KUMAZAWA	20120928
	製　図	TS.KUMAZAWA	20120928

注　QT:確認試験　AT:製品検査　○:適用項目		図番	SLC-343904-23-03		
HRS	製 品 規 格 表	製品名	DF57H-2P-1.2V(23)		
	ヒロセ電機株式会社	製品ｺｰﾄﾞ	CL666-0104-7-23	△2	1/1